



数学理科 教員授業力向上研修を実施しました



令和4年度より3カ年の計画で、「中学生の理数探究心育成事業」を実施しています。目的は、本県で不足している産業人材の育成に向け、中学生の理数探究心の高揚を図り、高校段階において理系選択が可能な学力と関心が高まるよう、理数教員の授業力のさらなる向上を図ることです。

令和4年度は、年間6回の「中学校数学理科教員リーダー育成研修」を実施しました。

令和5年度は、県内の中学校すべての数学科及び理科の教員を対象にオンラインによる全3回の「授業力向上研修」を、リーダー教員のコーディネートにより実施しました。第2回では、数学は文部科学省の水谷尚人教科調査官、理科は文部科学省の小林一人教科調査官及び日本大学文理学部の野内頼一教授（文部科学省の前教科調査官）を講師としてお招きし、ご助言をいただきました。



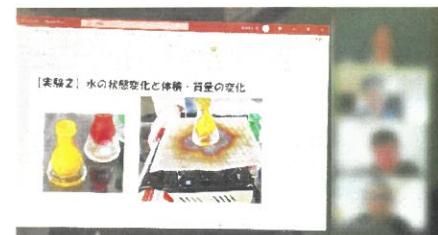
授業力向上研修（理科）の様子

受講者の感想

数学に興味をもち、数学を継続して学ぼうとする生徒に不可欠なものは、様々な学習課題に対して「わかった&自分でできた」という成功体験の積み重ねだと思います。普段の忙しさの中で、自己流の授業になりがちですが、今回のように同じ教科の先生からいろいろと刺激をいただけて良かったです。

他校の先生方との協議がとても学びになりました。さまざまな先生方の考えに触れて、改めて理科の良さに気づくことができました。教材との出会わせ方の工夫、生徒の言葉で探究が進む授業、生徒自身が見いだすことができる授業の工夫などたくさんの学びがありました。これから実践していきたいです。

次世代を担う教員の意気込みが実践を通して感じられて良かった。生徒に対して科学の楽しさや魅力、生活との関わり、将来の発展性などを豊かに伝えたいものである。



グループ別協議の様子



3年次に当たる令和6年度は、中学生を対象とした講座（数学は「わくわく数学教室」、理科は「わくわく理科実験教室」）を8月に教育事務所管内ごとに実施します。それぞれの教科の講座について、各会場の定員は20名としていますが、多くの中学生からの応募を期待しています。講座の内容等の詳細は、令和6年度に改めてご連絡します。

